

磐城時報

日刊 九月十
編輯兼發行所 田田 弘成
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町新屋町十四
番地
電話 二四一
郵政掛號 第三三三號
廣告料 一行十四字 金拾五銭
訂代料 一月 金拾五銭
日刊 日曜、祭日 休刊

坂本、緑川兩町議

縣參で失格と決定

却つて好い...坂本氏談

平町辯護士山野邊義政、安藤琢磨並に猪狩千勝、鈴木庫左右の各氏は本年五月三十日執行された町會議員改選に際し若松武一郎、吉田政吉、佐川友次郎、佐々木喜一、中島西藏、柴崎忠太の六名が選挙権を有せざるに拘はらず之に投票せしめられたから落選者の最高遠藤林松氏との差三票で當選した坂本隆藏、緑川喜三郎兩氏の當選は無効であるが、縣參事會は十八日開き審議の結果前記若松武一郎は選挙権を有してゐたが、他の五名は無資格者であつたといふ事には多數の故を以て決し結局坂本、緑川兩氏の當選は無効とする旨の決定をなしたが、之について平町役場當局で語る。

「未だ正式の通知には接しないが、本人坂本隆藏氏は語る。『私は最初から出馬の意志がなかつたのを無理に推されたのであるから失格しやうと思つてゐるが、失格した方が寧ろ好いと思つてゐる。勿論訴訟などは起しません』」

欺かれた仲町區民

木工場移轉の陳情

音響が八ヶ間しくて困る

平町銀治町吳服商吉田由三郎並である町建築業大友基市郎事に平町仲町山野邊久利外二十四増尾基市郎所有木工場が音響が名は連署して仲町地内に建設し激しく附近の者が迷惑である

出場拒絶

平第一小學校では縣下四大都市

から移轉若くは設計を變更するやう説諭して貰ひ度いと十九日代表者数名が連署した陳情書を平署に提出した、陳情書によれば大友基市郎は昨年五月仲町地内に木工場を建築するに當り小細工をする工場で電動力も僅か一馬力半位のものを入れたので同校では未だ當てスパイを使用した事なく若し使用する多額の金がかかるから不可能であるといふ理由で十七日電報で出場を拒絶した。

失業を悲觀して

労働者二名自殺 平署で善後策に腐心

石城地方の各炭礦は極度に經營死体を彼場に引渡したが、兩不振に陥つてゐるため各炭礦共労働者風の男で後者は自殺死前に労働者を多數解雇しつゝある日である十七日小名濱を徘徊し、之等労働者は他に職を求め炭礦を解雇された旨を告げ職を途なく途方に暮れその日の食探してゐた事が判明したから失職の結果自殺したものらしい。

銀行を襲つた

一一萬圓の怪盜 犯人は二人組 實は平署の捕賊演習

平警察署では十九日午前九時管城炭礦坑夫岩手郡巻堀村内巡査六十名を召集し鯨岡警部生れ八角喜代治(二四)は去る十七日夜東京市日本橋區東京護島山がらを手で捕獲し飼育し宿直員を脅迫して金庫を開かせ十圓紙幣合計二萬圓を強奪せし十圓紙幣を強奪して書類のみ検事局に送られた。

病舎落成披露

大和田醫院

平町南町耳鼻咽喉科専門大和田醫院では過般理想的な病舎を建築中であつたが、竣工したので二十日地方知已を招待し披露の盛宴を張る。

共済病院總出動

茨城に巡回診療 博士五名出張

平町警城共済病院では往年各所に無料巡回病院を開設し多大の好評を博してゐたが、来る二十一日公休日を利用して茨城縣大津町及び平瀧、磯原、關本の四ヶ所の各氏でこの外藥劑士吉本孝平町村の希望により大津町西町み氏並に看護婦十三名が全部出張などや旅館に於て第十二回の巡回診療を行ふ事になつた、診療而も錚々たる博士の診療は同地時刻は午前九時から午後三時迄方當でない事でも今から非常な期待をうけてゐる。

病氣を斬る

咽喉を斬る 生命危篤

石城郡湯本町字八仙入山炭礦長の他料理を開始したので一般に居住宮城縣小原町生れ古山武房例年以上の好評を呼んでゐる

驚いた!!!

一ノ井のカキ料理

平町田町洋食會社仕出しの一ノ井では例年同家で獨特のカキ料理を調理し、材料、風味共に他店が真似の出来ないものとして好評を博してゐたが、本年は例年より十五日も早くカキ貝が手に入つたので去る十六日以來カキなべ、スガキ、カキフライを

山がらを捕へ

狩獵法違反

石城郡内郷村大字宮字宮の深警

▲國性舞踊會 東京明治會主催平町教育會その他後援の教化運動の國性舞踊は二十日午後一時から平町聚樂館で開演する筈で曲目左の如し。

▲君ヶ代舞曲羽衣舞踊歌澤翁の巻(元調御所車)交通巡査(わがもの)國旗(春雨)ダンス(紀伊の國)君民一致(緑カイナ)在郷軍人(梅にも春)稚郎子(宇治茶)入營(京の四季)長明國防(逢來)空想夫婦(越後獅子)

三人殺しを逮捕するまで

小田部警部(寄)(十四)

最終(二十三日)に於ける賭博の状況を調べるに、當日は清野伊八、山田源四郎、高橋彦七、東谷喜代治、紺野義見、被害者千萬吉の六人にして、當夜午後九時頃同小屋内にて開帳、翌日午前二時頃迄勝負を争ひ、東谷喜代治、紺野義見の兩名十三圓と十一圓の勝を得、他は何れも敗を取りたり、千萬吉は現金換算にて紺野義見より金十三圓五十錢の支拂となりたるも所有金なき處より、兼て賭博關係にて黒沼好廣に貸與し置きたる金四拾圓を七月二十四日返済を受けるの約あれば之れを以て義見に辨済すべしとなし、高橋彦七、紺野義見の二人は二十三日夜は千萬吉方に泊り其他の者は何れも帰宅せり、高橋は二十四日朝早く千萬吉方を辭去し、兼て依頼せられて居たる清野伊八の小屋に行きたり、其の際紺野義見は未だ就寝し居たりと云ふ、尙ほ被害當日(廿四日)被害者方に入居したるもの及被害者の行動に就き更に捜査するに、炭焼夫齋藤與作外一名が同日午後一

時頃千萬吉小屋の前を通過したる際、紺野義見は千萬吉方に居りたるを現認したる事實探知したるを以て本犯は紺野義見の所爲と認め取調ぶるに前記賭博關係の外左の申立を爲したり。

時報文藝

外苑から

東京 白木 英尾
ケイオーだ、ワセダだ、幾万の群衆だ、大グラウンドは躍る躍る
若き誇をボールに賭けた君達のけふの心はおこそかなもの何といふ痛快さだらう! やつぱりわあ〜と叫びたくなる熱きつた頭のしんにカンとバットの響き強くこたへた雄叫びが空に大地にわき上りボール一つがカッ飛んでゆく

しつとりと土のしめりを感じつゝ大根畑に立ちたり香はひつこぬいたばかりの大根だ水つぽい土が匂つて居たらう井戸端に大根三つひいやりと並んだまゝに夕暮れてけり

賣地

商店向宅地

好間村大字上好間字忽滑六十一ノ一
間口十一間半奥行八間
九十一坪

一、縣道に沿ひ好間郵便局眞西隣
二、好間尋常高等小學校に近し
三、古河鐵業株式會社好間製坑前好間軌道停留所隣に位し
古河會社は目下數百萬圓を投じ新斜坑開鑿中、近く着炭すれば人夫入込多く大々有望地
地主 牛久

貸家案内
仲間町 勤人向 五圓九十錢
同 同 五圓五十錢
同 商店向 八圓五十錢
柳町 同 七圓
舊城跡 同 七圓
白銀町 同 二十圓
同 料理店 八圓
同 旅館向 十圓
五丁目 勤人向 五圓
白銀町 加藤營業所

平町 田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠
赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

吉田眼科病院

平町 紺屋町
電話 八六番

福島縣平町 山崎合名會社
電話 營業部専用一〇番
電話 一般用四二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話 下谷五七二番
振替東京六八三二番

着心地のよい 毛シヤツ
純毛シヤツ 二圓七十錢ヨリ
ラクダ 七圓五十錢ヨリ
十三圓マデ
目丁四平 店商ヤルツ

煙突は 朝日
石綿セメント製
絕對に はぜない!!
経済的で 火災の心配がない

冬の學生服
是非冬服もなかやで
コレならと自信を持てお奨め出来る生地裁縫共に申分ない黒小倉です
小學生用(長ズボン付)
1號 七八歳用 1圓80錢
2號 八九歳用 2圓00錢
3號 九十二歳用 2圓20錢
4號 十二歳用 2圓40錢
5號 十二歳用 2圓60錢
中學生用
6號 一二年生位 4圓20錢
7號 二三年生位 4圓40錢
8號 三四年生位 4圓60錢
9號 四五年生位 4圓80錢
各學校制定ボタンハシ高
中學外套十月月中旬より賣出
平二 なかや洋服店

吸入用酸素酸素吸入器
正確体温器寒暖計
店約特 開内藥局

カキ貝御料理
産名島松 スカカカ
キキキ
キラフイライ
スィ
電話 一六七番
新妻眼科醫院
入院應需 看護婦一名至急募集
平町 紺屋町